

公益財団法人 8020 推進財団

平成 24 年度 歯科保健活動事業助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：重度要介護高齢者に対する摂食支援カンファレンスと多職種への連携啓蒙活動

2. 申請者：公益社団法人 東京都町田市歯科医師会

2. 実施組織：公益社団法人 東京都町田市歯科医師会

日本歯科大学付属病院 口腔リハビリテーションセンター

4. 事業の概要：

①特別養護老人ホームに入居している、摂食嚥下機能の著しく低下している重度要介護高齢者に対し、嚥下内視鏡等を用いた誤嚥性肺炎の診断を行い、適切な歯科治療、摂食嚥下機能訓練、摂食支援を多職種を交えて行うことを図る。

②期待される成果として、欠損部の咬合回復、摂食可能な摂食形態の変更、高カロリー食の提供などの摂食支援を行うことで、結果として要介護高齢者の体重増加、免疫力を向上させ栄養改善を図り、低栄養の改善、誤嚥性肺炎の予防と QOL の向上が期待される。

5. 事業内容：

①毎月 1 回、特別養護老人ホームにおいて、歯科医師、医師、歯科衛生士、看護師、栄養士、ヘルパー、施設職員が集まり、摂食嚥下機能の低下している重度要介護高齢者に、嚥下内視鏡等を用いて現状の診断を行い、個々の改善目標を設定、討論を行う。その後、摂食嚥下リハビリテーション、臼歯部咬合回復、摂食可能な摂食形態の変更、高カロリー食の提供などの摂食支援を多職種の共通の認識のもとに行う。

6. 実施後の評価：

①介入時 BMI が 18.5 未満の 30 名(男性 5 名女性 25 名 平均年齢 88.5 歳±6.4 歳 平均 BMI16.7 ±0.9) は介入後平均 BMI17.9±1.1, 8 名は BMI18.5 以上に、介入時 BMI が 18.5~29.9 の 44 名(男性 5 名女性 39 名 平均年齢 85.1 歳±7.5 歳 平均 BMI22.3±2.7) は介入後平均 BMI23.3±2.9 に改善した。

②BMI が 18.5 未満の両側臼歯咬合関係は義歯のみ 16 名、残存歯と義歯 9 名、残存歯のみ 3 名の順に多く、CDR は重度 12 名中等度 8 名であった。義歯のみの者が CDR が最も悪化傾向にあり 35 名中重度が 15 名、中等度 8 名と多数で、咬合崩壊 4 名は介入前後の平均 BMI は最も低く、CDR は重度 2 名中等度 2 名であった。

③欠損補綴を行った者は 35 名で修理 18 床、リベース 24 床、新規製作義歯 13 床(新義歯を使用しない者 2 名 3 床)、治療の必要無 33 名、治療実施困難の者 9 名であった。治療実施者の介入時平均 BMI は 20.4±4.0, 介入後は 21.3±3.5, 治療実施困難者の介入時平均 BMI は 20.0±3.6, 介入後は 21.5±4.9 に、治療必要無の者の介入時平均 BMI は 20.6±4.0, 介入後は 21.6±3.7 にそれぞれ有意に改善を示した。治療実施困難者、摂食支援を行った者の大多数の CDR は重度であった。